

ホットと愛と

このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や団体にスポットを当てたインタビューコーナーです



今回は、浜須賀地区のボランティアセンター「サポートはますか」の新しい仲間となった、ボランティアの上原和恵さんにお話を伺いました。看板犬のリリーちゃんをはじめ、サポートはますかの雰囲気と共にお届けいたします。



***前号の「社協ちがさき」(地区ボラセン入り)の特集「」を覚えているボランティアに来てくださったのですが、このようにボランティアで「社協ちがさき」が届けたいことって、何か?**

看護学校の受験をきっかけにボランティアに興味を持ち始めたころ、広報紙がボラセンに入っていくとみてみたいと思ってたけど、「！」と勝手に連絡しました。もともと誰かのお世話をしたりすることが好きでしたが、家からも近く、地域に寄り添えるボランティアだと思いました。



若い世代の人がこういうことをきっかけに入ってくれるとうれしい!!

***「サポートはますか」のどのような活動からスタートしましたか? また、「サポートはますか」に入ってみての感想や印象を聞かせてください。**

まずは電話受付のお当番からスタートしました。初めて来てくださった皆さんの名前もわからなかったのですが、楽しくお話しができてうれしかったです。今まではたのしみもボランティアって難しく考えていた緊張してたけれど、この雰囲気ですぐ助けられました。

家でもしている草取りや買い物のお手伝いもあり、私でも出来るんだと感じました。



ボランティアだからあまり形を決めず、柔軟に考えたいと思っています。電話が静かなので、協力をしてもいいことがあるのでもお供しています。新しい人が馴染んでくださると嬉しいな。

***小学生のお子さんや人の手言やお仕事もありですが、新たに加わったボランティア活動は上原さんにとっては何ですか? また、今後してみたい活動などはありますか?**

ボランティアに行くことを主人も私も協力してくれて、子どもはママ、今日はボランティアなので「お返し」を送り出してくれます。また、ボラセンの方まで仕事や子育てがあることを理解して下さったことが有難かったです。

始めたから急に生活が変わるといってはいないと思うけれど、私は、身近でできる活動がこれだと感じたんです。目の前で喜んでくれる人がいたらうれしいじゃないですか!

今後は、自分も経験した育児中のお母さんの手助けや、高齢の方の買い物やお世話を全般的に活動出来るようにと思っています。



ボラセンは依頼者と顔の見えないやりとりがある。喜んでもらえるのが嬉しい。励みになっています。

***自分にもできることがあるかな? と悩んでおられる方に向けて「3ステップ」を一新している方始めるって勇気がいる。困っている人がいたら助けて!と誰もが思っているかもしれないけれど、きっかけがないとなかなか動きだせないと思います。でも勇気を出して、まずは行動してみることが大事かなと思います。入ってみたらわかるかと、感じを案じてあります。**

***お仲間の皆さんからも、「サポートはますか」についてお聞きしました!**

・サポートはますかは最初の頃から男性4割、女性6割の黄金比率!でももちろん男性も待っています!
・ここには現役時代の会社やボランティア関係ない!みんな同じ気持ちで、生活の当番だけでなく用事がなくても、生活のバッテリーになって自然と自車が勝手に向かっています。みんなが自然に集まっている。



・家に一人でいたり、家族としか喋らないうちのり、こんな色んな人と色んな話をするのが、刺激になって若返る!

・ボランティアって少し遠いところのような気がしてたけれど、ここに来て、住んでる人とならぶと地域に愛着を持てたし、自分と近く感じるようになった気がする。



家族とも会社とも違う関係だけだとそれがボランティアセンターの仲間であり、一緒に過ごす時間がホットな時間になっているように感じました。誰かのために何かしたいかと思う気持ちでも自分にはちょっと難しいかもと思う気持ちも、そのまま受け止めてくれるのがボランティアセンターなのかもいいですね。「サポートはますか」も、お住まいの地区のボランティアセンターも皆さまのはじめの二歩をお待ちしています。

広報紙「社協ちがさき」へのご感想や、ご意見・ご要望(「ホットと愛」でこんな活動をピックアップしてほしい!等)をお寄せください。

eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp



看板犬のリリーちゃん

あなたが寄付をありがとうございました

いただいたご寄付は、ボランティアグループ当事者団体の活動支援等、本会の行う社会福祉事業の充実に活用させていただきます。ご寄付もありがとうございます。

寄附者ご芳名(敬称略)
受領期間:令和4年6月1日

- 令和4年9月30日
- 一般財団法人光之村
- 特定非営利活動法人日本入歯
- リサイクル協会
- さがみ農業協同組合茅ヶ崎市果樹部会
- 湘南地区まちづくり協議会
- 「ミセン」部会
- イトーヨーカドー労働組合
- 茅ヶ崎支部
- 小松澤美千代
- 豊嶋正直
- 小出地区社会福祉協議会

ご寄附は、市社協にて随時受付をしております。

▼窓口での受付
受付時間:8時30分~17時15分
(土日祝日年末年始を除く)

※窓口への来所が難しい方は、本会が受け取りに伺います。事前にお電話やFAX、メールにてご相談ください。受付時間は、窓口の受付と同様です。

▼口座への振込み
振込先:湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部
(普)4134906
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
会長:水島静夫

※お振込みを確認した後、本会より領収証及びお礼状をお送りいたしますので、必ず事前にお電話やFAX、メールにてお名前(ふりがな)、ご住所及びご連絡先(お名前公表の可否)をご連絡ください。

※寄附者の方名は、本会広報紙、本会ホームページ及びLINEでご紹介させていただきます(公表不可の場合は匿名とさせていただきます)。

※お手数ですが、振込手数料はご負担ください。

共同募金運動が始まりました!



共同募金は、10月1日から開始された「一般募金(赤い羽根共同募金)」と、12月1日から開始される「年末たすけあい募金」の2つの募金から成り立っています。

赤い羽根共同募金は、主には茅ヶ崎市の福祉のために、そして被災地支援にも使われています。年末たすけあい募金は、生活に困りの方、在宅のねたきり、認知症高齢者の介護者へ民生委員を通じお届けをしています。

また、障害者団体、障害者地域活動支援センター等へも、市社協を通じお届けしています。

茅ヶ崎市では保育園や学校から、自治会や企業からと様々なところから募金にご協力いただいています。あなたの募金が、誰かを支えるための力になり、一人ひとりの力は小さくても、みんなの力が集まると大きな力となります。今年も皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。(担当: 県共同募金会茅ヶ崎市支会)

茅ヶ崎市シルバー人材センター

家庭のお仕事 **お仕事承ります** 企業のお仕事

草むしり、植木の剪定、部屋の掃除、網戸や襖、障子の張り替え など
オフィスの清掃、構内美化、スタッフ補助、業務サポート、企業の補完的な仕事 など

会員募集 市内在住の健康で働く意欲のある60歳以上の方

詳しくは、お問合せいただく当センターホームページをご覧ください。

TEL 0467 (85) 7425 茅ヶ崎市シルバー人材センター 検索

歩行困難・寝たきりの方専用 訪問鍼灸マッサージを体験してみませんか?

- ☆始めるにあたり医師の同意書が必要です
- ☆一月に3名のみ無料体験可能です
- ☆担当が施設・ご自宅にお伺いします
- ☆電話が取れない場合、後で携帯電話から連絡します



電話 0467-85-0385
はり灸まっさーじ工房まどか 担当 市川